



Teamsを使ったWindows PCでの遠隔授業

2024年11月20日版

- Windowsでの動作について説明します。Macにおいてもほぼ同様の操作で使用可能です。
- デスクトップアプリを導入する例を示します。

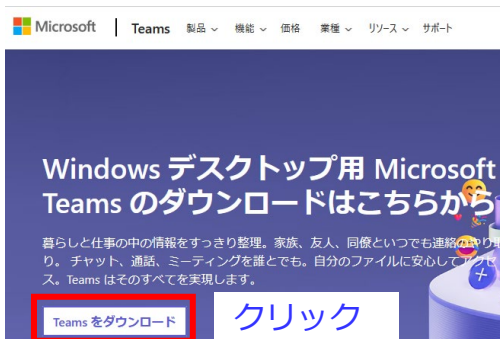
※環境により表示が異なることがあります。

※授業を開催する一例であり、複数の方法があります。

新しい Teamsをご利用ください。

① ソフトウェアの導入

ブラウザで <https://www.microsoft.com/ja-jp/microsoft-teams/download-app> にアクセスし、指示に従って導入します。



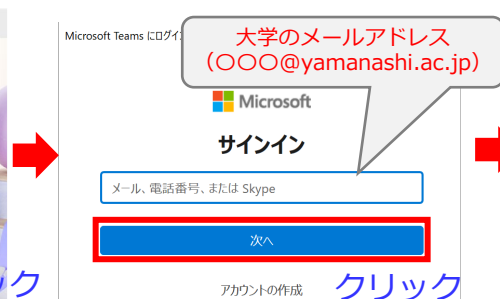
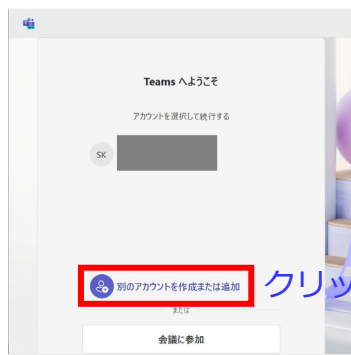
MSTeamsSetup.exe

ダウンロードしたアプリをダブルクリック

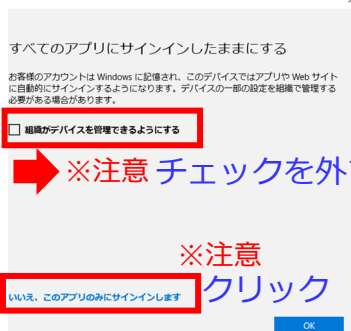
従来は「職場/学校向けのTeams」と「家庭向けのTeams」で異なるデスクトップアプリが配布されていましたが、2024年8月に公開されたバージョンから両者が単一のアプリに統合されました。

② サインイン

サインインは大学のアカウントで行います。個人のアカウントか大学のアカウントの選択の画面が示されることがありますが、大学のアカウントを使用してください。



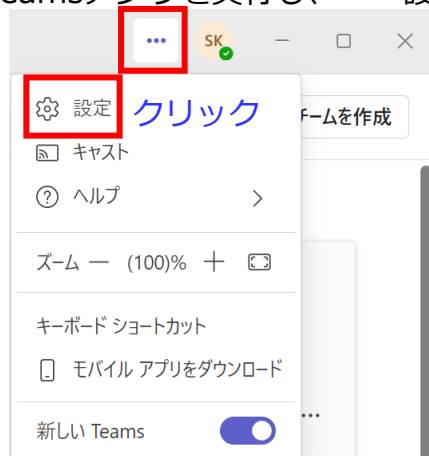
※大学のメールアドレスでサインインしないと授業ができません。



※授業科目ごとにチームが作成されています。

③ 接続を確認します

Teamsアプリを実行し、…→設定→デバイス→テスト通話を開始、指示に従って確認します。



④授業の開始（今すぐ会議）とスケジュールの方法

Teamsのチーム（講義名）をダブルクリックすると、タイムラインが表示されます



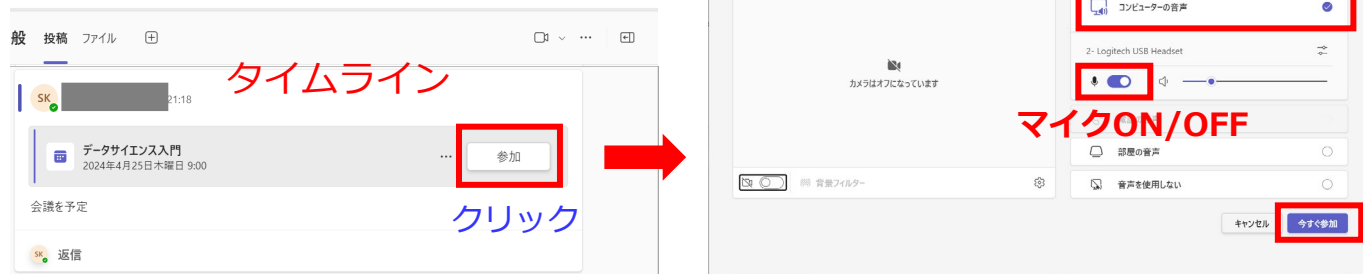
授業を開始する、もしくは授業をスケジュールします。



注：スケジュールは必須ではありません。タイムラインに表示されますが、時間になったら自動で開始される仕様ではありません。

⑤タイムラインからの授業の開始

チームのタイムラインから授業を開始できます



⑥授業中の操作



⑦会議出席者の確認

注：会議から参加者が全員退出すると、その会議の参加者レポートが自動的に作成され、ダウンロードできるようになります。

会議終了後、出席者レポートをダウンロードできます。

